

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 23 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	車両維持管理費			
担当課係名	西木地域センター 課	地域支援班 係	作成者	伊藤一智
総合計画での位置づけ	施策の大綱	計画達成のために		総合計画のページ 106
	基本計画	行政運営の効率化		
	主要施策	私有財産の有効活用		
予算費目	一般 会計	2 款 総務費	1 項 総務管理費	5 目 財産管理費
事業期間	平成 - 年度 ~ 平成 - 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス	<input type="checkbox"/> 公共事業	<input checked="" type="checkbox"/> 施設維持管理	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理
根拠法令等	仙北市公用車管理規定、道路交通法			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 直営 (一部民間委託)	<input type="checkbox"/> 民間委託 (全部) <input type="checkbox"/> 補助

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市職員及び市民
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	市職員の公務執行及び市民の行事参加に使用
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	公用車の維持管理、貸出

【事務事業の推移】

効果	活動指標	項目	単位	23年度実績		
				目標	実績	
効果	車両台数	目標	台	7		
		実績	台	7		
		達成度	%	100.0%		
	年間稼働率	目標	%	80.00		
		実績	%	54.72		
		達成度	%	68.4%		
投下コスト	項目		総事業費	23年度決算額(千円)		
	事業費(人件費を除く)(A)		1,879	1,879		
	人件費(B)		—	3,392		
	職員数		—	0.40		
	職員平均人件費		—	8,479		
	(A)+(B) 投下コスト		—	5,271		
	財源内訳	国庫支出金			0	
		県支出金			0	
		地方債			0	
		その他			0	
		一般財源		1,879	5,271	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	753,000		
	市民1人当たりのコスト(円)		—	177		

【事務事業の今までの成果】

使用目的により、各車稼働率に差があるが有効活用ができていていると思われる。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	仙北市と同様
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	特にありません。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
B 2	A 現状のまま継続（実施）	使用効率は良いと思われるが、今後は多少の改善が必要。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

<ul style="list-style-type: none"> ・買い換えの場合等、リース対応が経費節減になるのではないか。 ・使用回数の少ない車の必要性を考える。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
B 2	経費削減、CO2削減対策を引き続き推進し、一体型庁舎に向け全庁統一した集中管理が必要と考えられます。また保有台数の適正化等についても検討していく必要があると考えられます。

